

《伯方島遠望》制作年不詳

館蔵品展

仁根と海

2024. 8. 3 (土) - 2024. 11. 4 (月・祝)



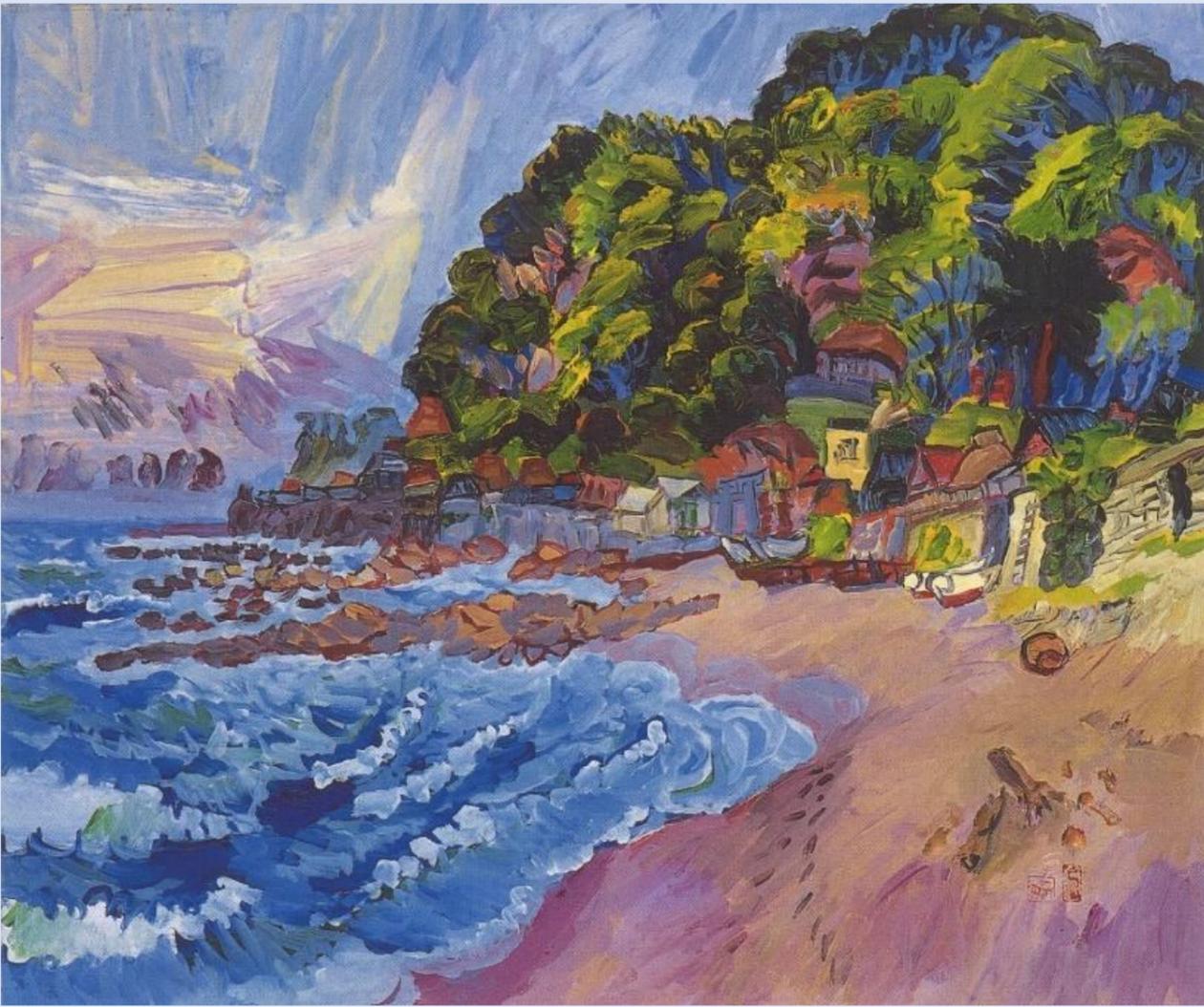
野間仁根  バラのミュージアム
(今治市吉海郷土文化センター)



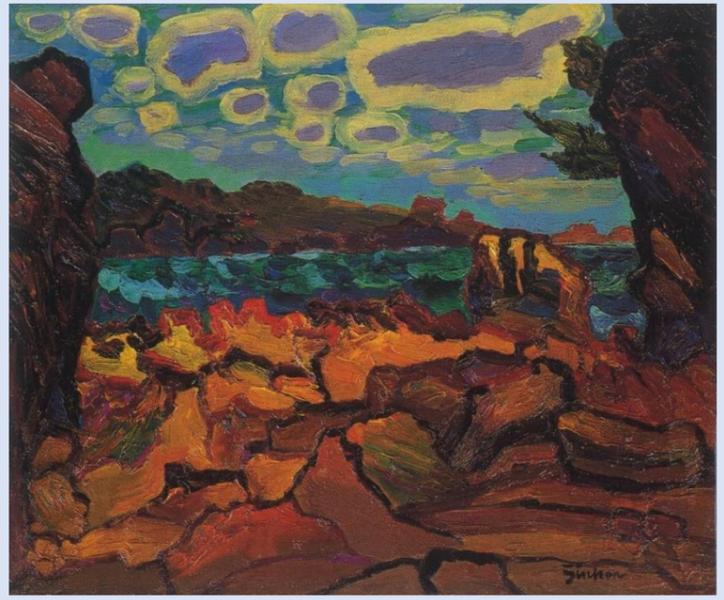
公式HP

開館時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)
休館日 / 月曜日(祝日の場合は直近の平日)
入館料 / 一般310円・学生160円
高校生以下または18歳未満無料

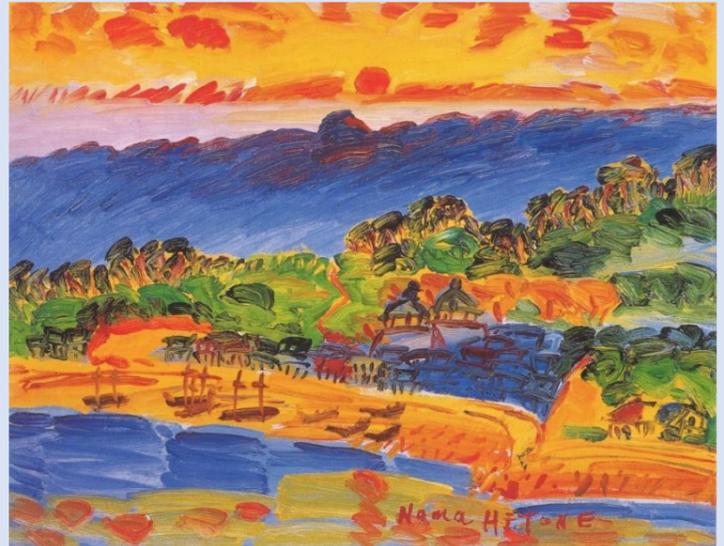
※大人団体(20名以上)250円
※65歳以上の方250円
※障害者手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料



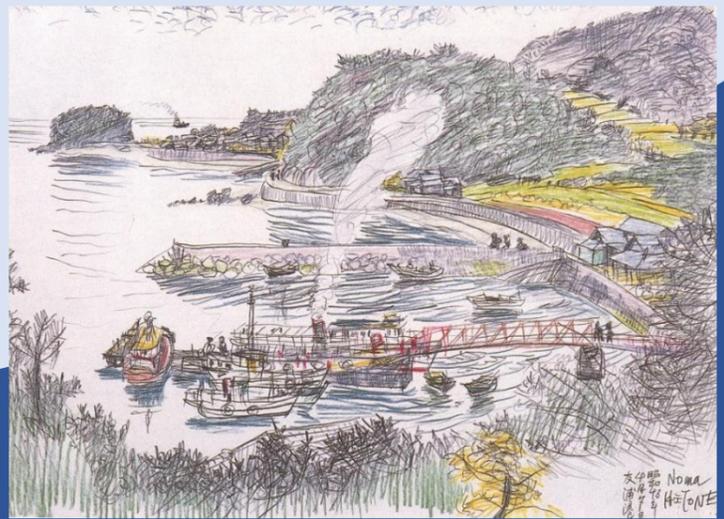
《房州太海》制作年不詳



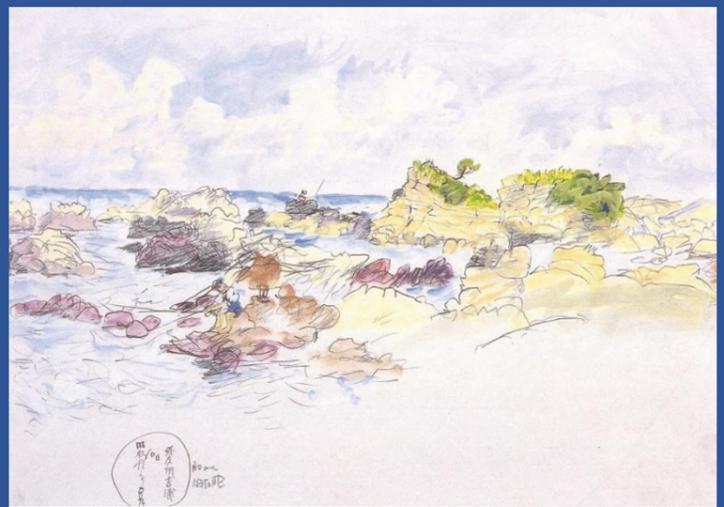
《早春の岩磯》制作年不詳



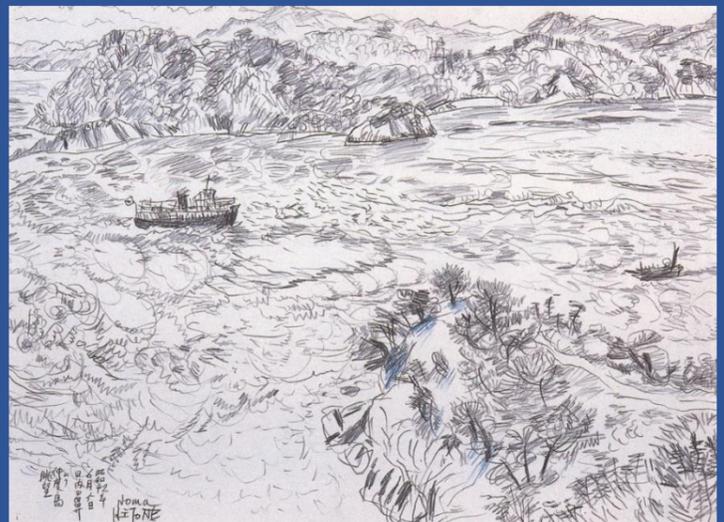
《瀬戸内海 椋名日の出》制作年不詳



《友浦港》1968年



《外房州吉浦》1966年



《日内の鼻(仲渡島眺望)》1967年

野間仁根が描いた海の風景画を展示いたします。

仁根は幻想的な世界を描いた作品で有名ですが、自然を題材にした作品も描いています。なかでも故郷・瀬戸内海や外房州の『海』を描いた作品を数多く生み出しています。

仁根は画家として東京で活躍しますが、「風景を描くなら故郷を描け」と語るほど故郷への思いは強く、戦時中に故郷に疎開した際には、島中を歩き回って写生に明け暮れました。また、外房州の海にもたびたび訪れ、趣味の釣りと写生を楽しんだようです。

仁根が愛した海の風景をぜひご覧ください。

野間 仁根 Noma Hitone

《略歴》

- 1901年 2月5日越智郡津倉村(現今治市吉海町福田)に生まれる。
- 1919年 伯父を頼り、母と上京。
- 1920年 川端画学校で学び、東京美術学校(現東京芸術大学)に入学。
- 1924年 第11回二科展で「ランプのある静物」が初入選。
- 1925年 東京美術学校を卒業。
- 1928年 第15回二科展で「夜の床」が樗牛賞受賞。
- 1929年 第16回二科展で「ぜ・ふうるむうん」が二科賞受賞。
- 1931年 佐藤春夫作「むさしの少女」に挿絵を描く。
- 1932年 津倉村に於いて志那と結婚。
- 1933年 二科会会員に推挙される。
- 1944年 郷里(津倉村)に疎開。軍の命令で二科会解散。
- 1945年 二科会が再建され、入会。
- 1955年 二科会脱退。同年、鈴木信太郎らと一陽会を結成。その後、個展や小規模なグループ展を開催。
- 1979年 12月30日、78歳で逝去。吉海町の福蔵寺に眠る。



◆アクセス◆

愛媛県側から

- 自動車 ■ しまなみ海道大島南ICから約10分
- バス ■ 松山市駅/今治駅より大三島行き高速バスにて「吉海支所」下車、バス停より徒歩15分

広島県側から

- 自動車 ■ しまなみ海道大島北ICから約10分
- バス ■ 広島バスセンター/福山駅よりしまなみライナーにて大島BS下車、島内路線バスに乗換「幸(さいわい)」下車、バス停より徒歩10分